

昭和 58 年度

## 和歌山県名匠表彰受賞者

敬称略（五十音順）

### 和歌山県名匠

あ だち さだ くす  
安 達 貞 楠

#### 経歴及び業績

15才の時に刃物鍛冶職に弟子入りし、10年間修業、その後刀剣に関心を持ち勉強を続け、昭和18年（現）御坊市の大阪造兵廠指定工場紀南日本刀鍛錬研磨道場鍛錬主任を務め、同所で人間国宝月山昇一門の川野充多良氏に師事、終戦まで軍刀の製作に専念した。

戦後刀剣製作を禁止された時期もあったが、地道に古来より伝わる技法、相州伝、大和伝を研究する。

昭和41年文化庁登録刀匠となり、昭和42年には財団法人日本美術刀剣保存協会主催の「新作名刀展」に出品、昭和55年まで連続出品し10回入選している。

「鍛え」・「焼き入れ」次第で金・銀以上の美しさができる黒鉄の魅力にひかれると語る名匠である。



職 種 刀 匠（刀名 龍神太郎源貞行）

